

会 議 録

会 議 の 名 称	令和7年度第3回所沢市上下水道事業運営審議会																																		
開 催 日 時	令和7年11月12日（水） 午前10時00分から午前11時30分まで																																		
開 催 場 所	上下水道局庁舎3階 大会議室																																		
出 席 者 の 氏 名	越阪部 眞、小澤 峰子、亀屋 隆志、近藤 孝夫、瀬能 幸則、 田中 弘城、宮越 美香（50音順）																																		
欠 席 者 の 氏 名	落合 未優																																		
議 題	(1)令和6年度所沢市上下水道局施策事業の進捗状況について （水道事業） (2)令和6年度所沢市上下水道局施策事業の進捗状況について （下水道事業） (3)その他																																		
会 議 資 料	・ 令和7年度 第3回所沢市上下水道事業運営審議会次第 ・ 令和7年度 第3回所沢市上下水道事業運営審議会席次表 ・ 資料1 令和6年度所沢市上下水道局施策事業の進捗状況について（水道事業） ・ 資料2 令和6年度所沢市上下水道局施策事業の進捗状況について（下水道事業） ・ 参考資料1 令和6年度水道事業 経営指標一覧 ・ 参考資料2 令和6年度下水道事業 経営指標一覧																																		
担 当 部 課 名	<table> <tr><td>上下水道事業管理者</td><td>鈴木 哲也</td></tr> <tr><td>上下水道局長</td><td>仲 正之</td></tr> <tr><td>上下水道局次長</td><td>草薨 秀夫</td></tr> <tr><td>上下水道局下水道維持担当参事</td><td>加藤 孝雄</td></tr> <tr><td>上下水道局総務課長</td><td>中林 正太</td></tr> <tr><td>上下水道局経営課長</td><td>中澤 宏和</td></tr> <tr><td>上下水道局窓口サービス課長</td><td>村中 慎児</td></tr> <tr><td>上下水道局水道建設課長</td><td>古澤 祐晴</td></tr> <tr><td>上下水道局給水管理課長</td><td>坂野 浩明</td></tr> <tr><td>上下水道局下水道整備課長</td><td>森田 敏幸</td></tr> <tr><td colspan="2">（事務局）</td></tr> <tr><td>上下水道局経営課主査</td><td>君塚 由里</td></tr> <tr><td>上下水道局経営課主査</td><td>石井 陽子</td></tr> <tr><td>上下水道局経営課主査</td><td>向井 達哉</td></tr> <tr><td>上下水道局経営課主査</td><td>越阪部 那佳子</td></tr> <tr><td>上下水道局経営課主任</td><td>武市 梓</td></tr> <tr><td>上下水道局経営課主事</td><td>前田 光揮</td></tr> </table>	上下水道事業管理者	鈴木 哲也	上下水道局長	仲 正之	上下水道局次長	草薨 秀夫	上下水道局下水道維持担当参事	加藤 孝雄	上下水道局総務課長	中林 正太	上下水道局経営課長	中澤 宏和	上下水道局窓口サービス課長	村中 慎児	上下水道局水道建設課長	古澤 祐晴	上下水道局給水管理課長	坂野 浩明	上下水道局下水道整備課長	森田 敏幸	（事務局）		上下水道局経営課主査	君塚 由里	上下水道局経営課主査	石井 陽子	上下水道局経営課主査	向井 達哉	上下水道局経営課主査	越阪部 那佳子	上下水道局経営課主任	武市 梓	上下水道局経営課主事	前田 光揮
上下水道事業管理者	鈴木 哲也																																		
上下水道局長	仲 正之																																		
上下水道局次長	草薨 秀夫																																		
上下水道局下水道維持担当参事	加藤 孝雄																																		
上下水道局総務課長	中林 正太																																		
上下水道局経営課長	中澤 宏和																																		
上下水道局窓口サービス課長	村中 慎児																																		
上下水道局水道建設課長	古澤 祐晴																																		
上下水道局給水管理課長	坂野 浩明																																		
上下水道局下水道整備課長	森田 敏幸																																		
（事務局）																																			
上下水道局経営課主査	君塚 由里																																		
上下水道局経営課主査	石井 陽子																																		
上下水道局経営課主査	向井 達哉																																		
上下水道局経営課主査	越阪部 那佳子																																		
上下水道局経営課主任	武市 梓																																		
上下水道局経営課主事	前田 光揮																																		

	上下水道局経営課主事 清水 美希 電話 04 (2921) 1087
--	---

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
	1. 開会（事務局により進行） 2. 委嘱状の交付 3. あいさつ ・開会あいさつ（鈴木管理者） ・各委員自己紹介 ・上下水道局職員自己紹介 ・会議資料の確認 ・出席状況の確認・会議の成立の報告 ・会長・副会長の選出 【会長】・・・亀屋委員 【副会長】・・・越阪部委員 ・会長・副会長あいさつ ・諮問書の受け渡し 4. 議事の前の手続き（亀屋会長により進行） ・新委員の委嘱があったため、事務局より以下3点について説明 （1）会議の公開：原則公開 （2）会議録の作成方法：委員名記載の要約方式 （公開時は委員名を記載せず「委員」とする） （3）会議録の確定方法：会長の確認・署名により確定 ・傍聴希望者の確認（希望者3名） 5. 議事（亀屋会長により進行） 会長 議事（1）について説明していただきたい。 経営課主査 ※資料1・参考資料1に基づき、令和6年度所沢市上下水道局施策事業（水道事業）の進捗状況について説明。 委員 （以下、質疑応答） 浄水場整備事業の耐震補強工事について、この耐震補強工事によりどれくらいの災害に耐えられる設計になるのか。 給水管理課長 この工事により、配水池が震度6強の地震に耐えられる設計になっている。容量は、すべての浄水場の合計で9万2,000tとなっている。

会長	西部浄水場 1 号配水池は何世帯分をカバーする施設なのか。
給水管理課長	西部浄水場自体が所沢市の西部地区をカバーしており、全体の約 30% となっている。西部浄水場については、1 号配水池の 4, 500 t と 1 万 5, 000 t の二つの配水池があり、容量は計 1 万 9, 500 t である。
委員	料金回収率について、収益性の向上とは具体的にどのようなことを考えているのか。
経営課主査	料金回収率は、供給単価と給水原価の割合で算出している。例えば、令和 8 年に予定している料金改定により、供給単価が上がり、収益性の向上となっている。その他、供給単価が低い区分の料金体系を見直し、原価割れを改善することなどが、収益性の向上に繋がっていくと考えている。 (質疑応答はここまで)
会長	続いて、議事(2)について説明していただきたい。
経営課主任	※資料 2・参考資料 2 に基づき、令和 6 年度所沢市上下水道局施策事業(下水道事業)の進捗状況について説明。 (以下、質疑応答)
会長	所沢市の雨水管と污水管について、分流式と合流式の割合はそれぞれのくらいか。
下水道維持担当参事	正確な数字は出していないが、合流式よりも分流式のほうが広い区域となっており、4 対 6 の面積比である。
会長	雨水浸透井について、毎年一箇所ずつ築造しているとのことだが、地質などによってできる場所とできない場所があると思うが、今後の見込みを教えてほしい。
下水道整備課長	雨水浸透井については、会長のおっしゃる通り向き不向きがある。地下水位が高い場所は当然無理であり、地層の関係でも難しい部分がある。事前にボーリング調査等を実施し、適正な箇所については有効なものであるため、今後も継続して実施していきたいと考えている。
会長	カメラの調査とあるが、実際にカメラで何をどのように調査しているのか。

下水道維持担当参事	雨天時浸入水対策事業で行うカメラ調査は、管の亀裂から雨水や地下水が下水道管内に入り込んでいないかの確認や、劣化状況の確認に使用している。
会長	そのカメラ調査で、実際にどのくらいの不具合が見つまっているのか。
下水道維持担当参事	雨天時浸入水対策事業で行うカメラ調査では、比較的大きく太い管を調査しており、管の厚みがあるため見つかる不具合はあまり多くない。
会長	このような調査は定期的に行う必要があると思うが、実施しなければならない場所全体から見て、現状どのくらい調査できているのか。
下水道維持担当参事	雨天時浸入水対策事業で調査する管については令和３年から令和６年の間ですべて完了している。現在は、下水道ストックマネジメント事業の中に雨天時浸入水対策事業を入れ込んで調査を実施している状況である。
副会長	令和６年度の施策事業に関しては長期で計画を立て、予定通りに進んでいる。また、経営的なことについては、マイナス部分の補填をしなければならず、それが令和８年度の料金改定に繋がっていると思う。改定については、市民の方へ分かりやすい説明の機会が必要であるため、現在の出前教室や、広報紙「水物語」などで引き続き周知に努めていただきたい。所沢市松が丘地区で発生した漏水のように、市内には心配事を抱えている箇所も多くあると思う。今まで以上に職員の皆様には汗をかいていただいて、市民が安心・安全・快適な生活ができるよう事業を進めていただきたい。
委員	今後、更新の事業を進めていく必要があると思うが、令和８年度に料金改定を行うことで当面は問題ないのか、あるいはまた値上げを考えなければならないのか。
経営課長	今回の料金改定はシミュレーションに基づいた改定であり、この内容を反映した経営計画期間中は、資金も枯渇せず、損益を維持できると考えている。この期間は、水道は５年間、下水道は１０年間であるが、この計画自体を定期的に見直すことが国の指針であるため、随時検討が必要である。
会長	これまで一般会計から繰り入れしていた部分について、料金収入が増えると繰り入れしなくてもよくなるということを市民の皆様に分かっていただく必要がある。また、管路の更新について、事業を行う側からすると当たり前という意識があると思うが、料金改定を機にその必要性を正しく伝えることに努めていただきたい。

会長	(質疑応答はここまで) 続いて、議事(3)に移る。本日の議題以外にも、何か気づいた点等はないか。 (一同意見なし) 予定した議事は全て終了したので、進行を事務局にお返しする。 6. 閉会(事務局により進行)
副会長	閉会挨拶